



祝 20歳おめでとうございます はたちの門出

俱知安町の成人記念式典「はたちのつどい」が1月8日(日)、文化福祉センター大ホールで開催されました。

昨年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げになりましたが、俱知安町では引き続き20歳を迎える町内在住者および町内出身者を対象に実施。当日は111名の新成人が出席し、

友人らとの再会を楽しみました。

式典では、島下利久登さんがはたちの誓いを、波方萌さんがお礼の言葉を述べたほか、後半に上映された学生時代の懐かしい写真や恩師からのメッセージを集めた記念映像では、会場から歓声や手拍子が起こるなど、笑顔と感動に包まれながら式典は幕を閉じました。



20歳を迎えたお二人に聞きました



大西 わなかさん

俱知安で生まれ育ち、高校進学とともに故郷を離れ、現在はカウンセラーの夢実現のために道外の大学に通う。

安心感があって 頼れる存在に

「20歳を迎えてみて?」
「自分の将来について、考えることが多くなりました。興味のあることや資格取得など、今だからできることに何でも挑戦

「俱知安はどんなところ?」
「俱知安は空気がおおいしく、自然も豊富なので、帰ってくると落ち着きます。まちで知り合いが声を掛けてくれたときには、地元に戻ってきたなど感じるができます」

「両親には、これまで自分のやりたいことを反対せず、やらせてもらいます。これからも一緒に過ごす時間を大切にしていきたいです」
「いま、家族に伝えたいことは?」
「その人に合った手の差し伸べ方ができるカウンセラーを目指しています。頼りがいがあり、いるだけで周りの人が安心できるような存在になりたいと思います」

感謝の気持ちを 持ち続けたい

「20歳を迎えてみて?」
「お世話になった人たちへ感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。20歳を機に、より大人になれるよう自分自身成長して前に進んでいきたいと思っています」

「子ども頃から体を動かすことが好きで、夏はサッカーや陸上、冬はスノーボードをしていました。俱知安には、自然・人・食など、魅力がたくさんあると思います」

「どんな大人になりたい?」
「多くの素晴らしい人たちと、これまで関わらせてもらい、とても恵まれていると感じます。自分に影響を与えてくれた人たちに、少しでも近づけるようになりたいです」
「いま、家族に伝えたいことは?」
「両親は温かく見守り、いつも全力でサポートしてくれました。今はなかなか会えないので、この機会に感謝の気持ちを伝えたいです」



カ ー 涯 さん

俱知安で生まれ育ち、高校進学とともに故郷を離れ、現在は道外の大学に進学し、勉学に励む。